

環境学委員会分科会の設置について

分科会等名： 環境リスク分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 健康・生活科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	環境リスク対応とは人と生物および生態系全てを念頭に置き、環境リスクの科学的な評価、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションなど(1部から3部にまたがる)多くの学問領域の協力と専門的な知識が不可欠の分野である。しかし日本では社会の中での位置づけが弱く、またこれまで学としての確立や次代の専門家を養成する教育体制の整備も十分でなかった。アスベスト問題に代表されるように国民の命と健康に関する大きな犠牲と多大な修復・補償費用が必要になることが起こりうることを肝に銘じ、我が国で21世紀に環境リスク評価・リスクマネジメントおよびリスクコミュニケーションを含む科学的な環境リスク対応の諸科学を発展させること、アジア諸国をはじめとする諸外国との国際協力、専門家の育成を一層はかることを目的として本分科会を設置したい。
4	審議事項	(1) 環境リスク対応に関する分野の連携・及び当該分野の研究発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること (2) 環境リスク対応に関する分野の人材養成について
5	設置期間	時限設置 平成 年 月 日～平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	